

令和5年（2023年）8月3日

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター 新庄東高等学校との連携協定締結 ～高校在学中に起業を経験できるアントレ教育コース開設を支援～

【本件のポイント】

- アントレプレナーシップ教育研究センターは、本日、新庄東高等学校との間で「アントレプレナーシップ教育に関する協定書」を締結しました。
- 地域産業の活性化に繋がる人材の育成を目指し、協働して高校性へのアントレプレナーシップ教育を実施することを目的とします。
- 同センターでは、2024年度に新庄東高等学校が開設する、高校在学中に起業や海外インターンシップを経験できるアントレプレナーシップ教育を含む新コース立ち上げを全面支援します。



【概要】

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター（以下、「アントレセンター」という）は、学校法人新庄学園新庄東高等学校（以下「新庄東高」という）との間で、アントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成や経営人材の育成を図るとともに、地域産業の活性化に繋がる人材の育成を目指し、協働してアントレプレナーシップ教育を実施することを目的として、連携協定（以下「本協定」という。）を締結しました。なお、本協定の有効期間は2026年3月31日までとなります。

（背景・目的）

高校生を対象に起業家マインドの醸成を図ることは、地域課題を自分ごととして捉え、解決できる能力を有する人材を育成するために重要な教育活動である。高校生へのアントレプレナーシップ教育の拡大は文部科学省の指針にもあり、アントレセンターとしては、同省 Edge-Prime Initiative 事業を活用し今年度実施している、鶴岡工業高等学校へのプログラム提供に続き、県内全域への展開に向けたロールモデルとすべく重点的な連携を推進する。

（連携・協力事項）

- 山形大学「i-HOPE」新事業創出イノベーションプログラムを活用した指導教員の育成
（2023年度新庄東高教員4名が受講、文科省 EDGE-PRIME Initiative 事業を活用）
- 新庄東高のアントレプレナーシップ教育コース開始（2024年度～）に向けた、カリキュラム検討等の支援
- 新庄東高アントレプレナーシップ教育における教育プログラム提供

お問い合わせ

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター 齋藤

TEL 023-628-4075 メール yu-entre@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【協定機関の概要】

○学校法人新庄学園新庄東高等学校

理事長・校長 | 田宮 邦彦

創立年月日 | 昭和 40 (1965) 年 4 月 16 日

所在地 | 山形県新庄市松本 596 番地

校訓 | 自らの手で人生を開拓しよう

それは努力によって そして方法を考えて すべて敬虔な態度で

○山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター

センター長 | 小野寺 忠司 (教授)

設立年月日 | 令和 (2022) 4 年 4 月 (令和 5 年 4 月から現センター名に変更)

所在地 | 山形市小白川町一丁目 4 番 12 号 (小白川キャンパス人文社会科学部 3 号館 8 階)

事業内容 | アントレプレナーシップ教育 (大学生、社会人、企業人、団体、中高生)

企業向けリーダーシップ教育、新事業創出教育

アントレプレナーシップに関する社会・地域との連携

令和5年(2023年)8月3日



アントレプレナーシップ教育研究センター 新庄東高等学校と連携協定を締結

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター
小野寺 忠司 | センター長・教授

学校法人新庄学園新庄東高等学校
田宮 邦彦 | 理事長・校長

スタートアップ創出の基盤となる人材の量や多様性を増やすため、アントレプレナーシップ教育の機会を、将来設計の入り口である高校生等に拡大する。

高校生等へのアントレプレナーシップ教育の拡大方針：EDGE-PRIME Initiative※

※ Exploration and Development of Global Entrepreneurship for Primary, Middle and High School Students Initiative

全国各地で小中高生等に対するアントレプレナーシップ教育の機会を拡大すべく、産業界・自治体等の方々と連携しながら、省庁横断で一体的に推進。

①拠点都市を中心とした面的展開

- ★ スタートアップ・エコシステム拠点都市
大学発新産業創出プログラム（START）
大学・エコシステム推進型【スタートアップ・エコシステム形成支援】
（※拠点都市がある都道府県には、全国約1300万人の小中高生のうち、約760万人の小中高生が所在）

②各地での先端的な取組の展開

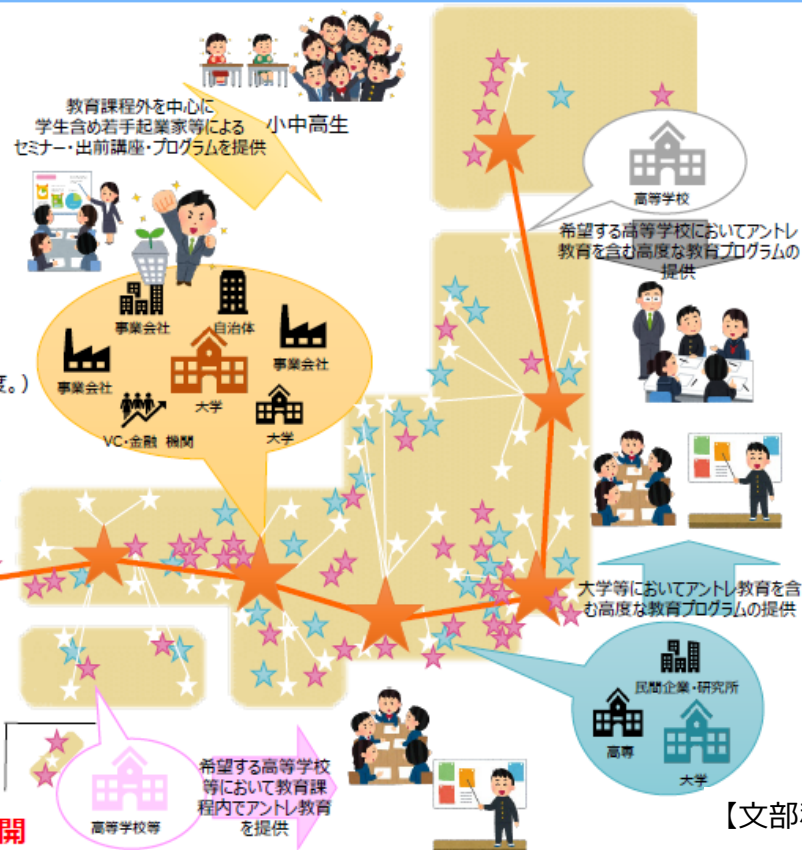
- ★ グローバルサイエンスキャンパス
ジュニアドクター育成塾 実施機関
（現在、実施機関は31都道府県に点在。受講者は年間約2,500人程度。）
- ☆ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業
（現在、指定校は47都道府県に点在。全国約5000校のうち、約200校が指定を受ける。）

③各学校へのアントレ教育支援

- ★ 起業家教育事業（中小企業庁）
 - ✓ 標準的カリキュラムを活用し、課程内でプログラムを実施する高等学校等を支援
 - ✓ HPにリストを掲載し、高等学校等に起業家を派遣

他、高専を中核とした地域×若者による新たな価値創造の促進や小・中・高等学校等におけるキャリア教育とも連携

デジタル田園都市構想とも連携し、全国各地へ展開



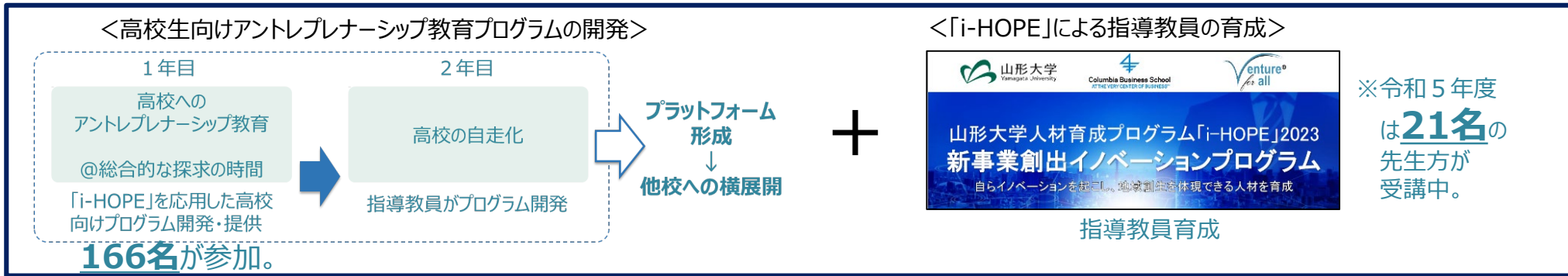
【文部科学ホームページより】

組織概要：組織と役割の変遷

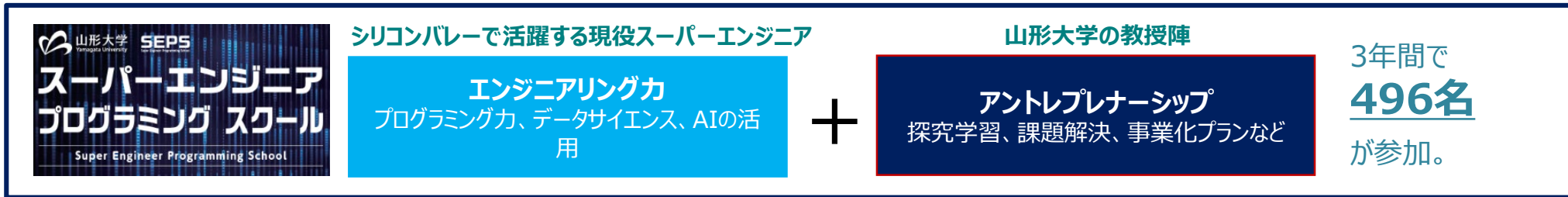


山形大学における高校生向けの取り組み

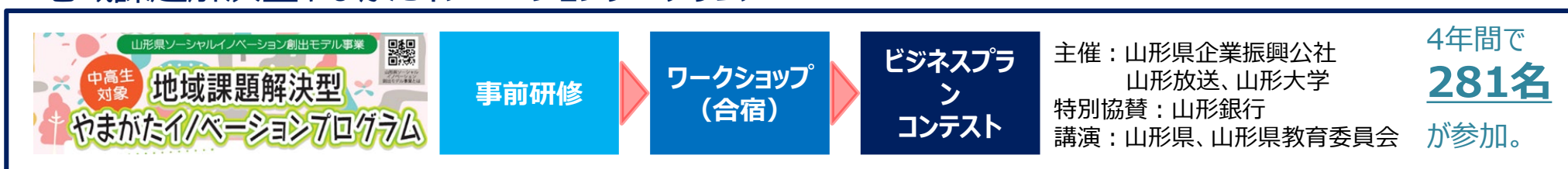
■「総合的な探究の時間」を活用した高校向けアントレプレナーシップ教育プログラムの開発 (EDGE-PRIME Initiative)



■スーパーエンジニアプログラミングスクール ※令和3年度～（3年目）



■地域課題解決型やまがたイノベーションプログラム ※令和元年度～（5年目、今年度は10月実施予定）



アントレプレナーシップ教育に関する協定

高校生向けアントレ教育実施



×



地域産業の活性化に繋がる人材の育成

協定における主な連携協力事項

- 山形大学「i-HOPE」新事業創出イノベーションプログラムを活用した指導教員育成支援
(2023年度新庄東高教員4名受講、文科省EDGE PRIME Initiative事業を活用)
- 新庄東高のアントレプレナーシップ教育コース開始
(2024年度～)に向けた、カリキュラム検討等の支援
- 新庄東高のアントレプレナーシップ教育における
山形大学からの教育プログラム提供および出張／遠隔講義

新庄東高校の概要・特徴

- 沿革：昭和40年設立の最北地区唯一の私立高等学校
平成21年よりEASTの4つのコースを設置
- 教育目標：とがっためんこい子の育成
 - 1.誰にでもしっかりコミュニケーションをとれる
 - 2.自分の長所（個性）を磨く
 - 3.自ら動こうとする積極性を養う
- 教育内容：「体験型の高校」として他校よりも
一歩進んだカリキュラム編成
プレゼン授業・クリエイティブタイム・地域課題の探求
国際交流の実施



新Eコース4つ柱

Entrepreneurship
education

Adaptive
Learning

E

Competition

English



Entrepreneurship education

(アントレプレナーシップ教育)

マインドセット

- 起業家精神の理解
- 概論

スキルセット

- ビジネスデザイン
- 海外インターンシップ

プラクティス

- ビジコンへの参加
- 社会実装



Adaptive Learning

(個別最適化した学び)

AIの積極的な活用

個別に対応した課題の配信

学齢を超えた学び合い



Competition

(各種コンペやコンテストにチャレンジ)

アントレプレナーシップの実践

社会実装・実践

各種ビジコンへの参加



English

(英語教育の充実)

AIの積極的利用

CEFR、A2以上をの英語力の育成

海外教育旅行